



4月は環境の変化と季節の変わり目で疲れやすく、発熱したり、鼻水や咳などの症状により体調を崩す子どももいました。また、RSウイルス感染症に罹患したお子さんがいました。

5月の連休明けも生活の切り替えで体調を崩しやすくなっていると思います。自宅での様子や体調の変化など登園時にお伝えください。こども園でも子どもたちの健康観察を丁寧に行い、体調の変化に注意していきたいと思っています。

RSウイルス感染症

原因 接触感染と飛沫感染で感染が広がります

症状 RSウイルスに感染してから2～8日、発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で自然軽快しますが、重くなる場合には、その後咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難となるなどの症状が出現し、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと進展していきます。初感染乳幼児の約7割は、鼻汁などの上気道炎症状のみで数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴、呼吸困難などが出現します。

受診のめやす

クラスで何名か感染者が出た場合、有症状者の方に、通院のご協力をお願いしています。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談ください。

登園のめやす

呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと

＊登園の際には、登園届（保護者記入）が必要になります

入園のしおり P13をコピーしていただくか、丸森たんぽぽこども園ホームページからダウンロードできます

《歯科検診の日程について》

6月18日（水）12:00～ 幼稚園児と3・2・1・0歳児

7月2日（水）12:00～ 5・4歳児

＊朝の歯磨きを忘れずにして来てください。

＊ご家庭で仕上げ磨きをする時や、口の中をチェックしたい時に使っていただきたいと思い、お子さんが使用したミラーを持ち帰りますので、ぜひ、ご活用ください。なお、持ち手が長いので、取り扱いには十分気をつけてください。



全国的に麻疹（はしか）、百日咳が流行しているようです。治療よりもワクチンで予防することが何よりも重要です。予防接種がまだの方は、早めに受けるようにしましょう。

《こども園での処置について》

『傷の手当については、傷にいる細菌や付着物を洗い流すことが治りを促進することから、水道水や時にはハンドソープを使って傷口を洗い流すことが主流となっています』

①転んだ時などのすり傷

水道水で傷を洗い、止血を確認後血液が付着する場合だけ絆創膏やガーゼで保護するようにしています。

＊帰宅後に、絆創膏やガーゼをはがして、化膿していないか、出血していないか等を確認するようにしてください

②虫刺されや打撲

保冷剤でしっかり冷やすようにしています。

③発熱

冷却ジェルシートを貼付しても体温を下げる効果はありません。窒息事故や皮膚がかぶれるなどの報告もあるため使用しません。

＊手や足が冷たい時は、寒が続いているため熱が37.5℃以上であっても冷やさず、靴下を履いたり上着を着たりして身体を温めるなどの工夫をしています。